

令和3年度12月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和3年11月30日（火）午前11時00分～11時50分
場所 市役所2階 第1委員会室
出席 市政記者クラブ9社

会見内容

1. 話題提供（4項目）

1. コロナ克服・新時代開拓のための経済対策について

- 最初に、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策についてです。
- 11月19日に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」のうち、2つの施策を早急に進めてまいりたいと考えております。
- 1つ目は、「子育て世帯への臨時特別給付金」です。
- 本給付金は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、子育て世帯を支援する観点から、高校生までの子どもがいる世帯に対し、臨時特別の給付金を支給するものであります。
- 支給対象者は、0歳から高校3年生までの子どもを養育する方で、基準日は9月30日となっております。なお、令和4年3月31日までに出生したお子様を養育する方も対象となっております。支給には、児童手当同様の所得制限があります。
- 対象は、18歳までとなっており、基準日は9月30日ですが、今年度末までの出生者が対象となります。
- 給付額は、対象児童一人につき5万円です。いち早く皆様のご家庭へお届けするため、準備を進めております。
- 市議会が12月1日から始まり、この中で補正予算の議決をいただく予定です。国会での決定も、12月中旬の予定でありまして、これらを踏まえ、可能な限り早く支給していきたいと考えております。
- 16～18歳につきましては、市から案内後、申請が必要です。申請後、翌月に、振り込む形になっております。できる限り早く対応できるよう進めているところです。
- 2つ目は、「原油価格高騰対策助成金」です。
- 本助成金は、エネルギー価格高騰への対策として、冬季の生活安定を図ることを目的に、低所得世帯に対し、助成するものです。

- 対象世帯は、基準日（令和3年12月10日を予定）に、釧路市の住民基本台帳に登録されており、申請日において実際に釧路市に居住している世帯で、かつ世帯員全員が令和3年度の市民税が非課税、若しくは均等割りのみ課税されている者で構成されている世帯が対象となります。
- 助成額は、1世帯あたり5千円です。対象世帯は、約38,000世帯で、全世帯の約40%になります。
- 今後のスケジュールは、12月下旬から令和4年1月上旬を目途に申請受付を開始し、順次支給を行う予定です。

2. 新型コロナワクチンの接種について

- 続いて、新型コロナワクチンの接種についてです。
- 現在、「12歳からの全対象者」への接種を実施しており、11月28日までに、希望者に対する接種が、概ね完了したところです。
- 昨日11月29日現在のワクチン接種状況は、12歳以上の市民、約151,100人のうち、1回目の接種を終えた方は、約134,600人、接種率89.1%、2回目の接種を終えた方は、約130,400人、接種率86.3%となっております。
- フィッシャーマンズワーフMOO5階特設会場では、11月28日までに、約32,300人の方が接種されました。
- 12月以降も「誕生日を迎えて12歳になる方」には、誕生日の前日から接種が可能となっておりますことから、順次、予約のご案内をしていきます。
- これから12歳になる方や、11月中に2回目接種を完了することができなかった方などには、市役所防災庁舎5階に特設会場を設置し、接種できるようにいたします。
- 日程は12月5日（日）、12日（日）、19日（日）、26日（日）、令和4年1月10日（月）、23日（日）で、午前9時から午後4時30分（正午から午後1時は昼休憩）までの予定でしたが、今朝の時点で、予約が満杯になったところですので、今後、日程を増やし、対応していきます。後日、改めてご案内いたします。
- 次に、新型コロナワクチン追加接種（3回目）についてです。2回目の接種完了後、8か月経過した方を対象に、12月から実施いたします。
- 先行接種していた方のうち、今年3月までに2回目の接種を終えた医療従事者から、勤務する医療機関にて接種を開始し、2月からは、他の医療従事者、高齢者施設等入所者、4月から一般高齢者と、順次接種を進めてまいります。

- 3回目の高齢者施設等入所者や一般高齢者の接種体制等については、現在、医療機関と協議・調整中であります。
- 皆様が接種できる体制を作り、しっかりと進めてまいります。

3. 釧路市職員「飲食店サポート宣言」の実施について

- 続いて、釧路市職員「飲食店サポート宣言」の実施についてです。
- 今まで、大人数の会食の自粛を要請しておりました。
- それら様々な制限が解除されたことから、市内の経済を盛り上げるために、釧路市職員の率先した飲食店利用を促すための「飲食店サポート宣言」を実施しています。
- これから忘年会シーズンになりますので、自らも感染防止の対策をとりながら、感染防止を徹底している飲食店を、積極的に利用してまいります。
- また、市内の歓楽街や商店街では、歓楽街サポート補助金、がんばる商店街等応援補助金など、これらを活用しながら、さまざまなイベントが催されると伺っております。
- 飲食店側も感染対策を行い、利用者も感染対策のルールを守りながら、積極的に飲食店を利用し、経済を回していきたいと考えております。

4. 釧路都心部まちづくりフォーラムの開催について

- 最後に、「釧路都心部まちづくりフォーラム」についてです。
- 12月16日（木）午後1時から、釧路市観光国際交流センターにおきまして、「釧路都心部まちづくりフォーラム」を開催いたします。
- 現在、鉄道高架を基本とした道路ネットワークの再編等により、通過を目的とする車の流入を抑制し、車中心のまちづくりから、人を基本としたまちづくりへ変えるというものであります。都心部を人を中心とした賑わいの拠点として、人の移動は公共交通を活用しながら、中心市街地の活性化を行うプランです。その中で、考え方や具体的手法などを、講師、パネリスト、市民の方が一緒に考え議論する場として開催します。
- 当日は、都市計画の分野において国内有数の専門家である、北海道大学教授の高野伸栄氏に基調講演をいただいた後、都心部の再生について、市民代表によるパネルディスカッションを実施いたします。
- フォーラムへの参加につきましては、事前申込制となっておりますので、参加を希望される方は、12月10日（金）までに、メールにてお申し込みいただきますよう、よろしくお願いいたします。
- 当日のフォーラムの様子を、YouTubeにてライブ配信いたしますので、多くの市民の皆様にご覧いただきたいと思います。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・ 子育て世帯の臨時特別給付金については、新しく生まれるお子さんを養育する方も対象ということですが、どのぐらいを想定しておりますか。

(市長)

- ・ 現在、1年間に生まれてくる子どもの数は、大体800～900人の間となっておりますので、10月から翌年3月までの半年となりますと、400人ぐらいの方が対象となってくると推定されます。

(質問)

- ・ 今回、支給対象として想定される人数・世帯は、どのぐらいになりますか。

(市長)

- ・ 対象は、約21,100人、13,400世帯を想定しております。

(質問)

- ・ 原油価格高騰対策助成金については、市の財源からの支出となるのでしょうか。また、福祉灯油という形ではなく、5,000円の給付金を配るという選択をした理由はあるのでしょうか。

(市長)

- ・ 事業費については、その経費の2分の1が国の特別交付税で措置される仕組みを活用するものです。こちらは、エネルギーが高騰している中での対応で、福祉灯油の仕組みで考える話ではなく、あくまでもエネルギーの高騰対策ということで、厳しい環境の方々が助成対象となります。今回は、対象世帯を少し拡大しており、以前、福祉灯油を実施した時には含まれていなかった均等割りのみ課税されている方も対象世帯となりました。基本的には、エネルギーの高騰対策で実施するという趣旨です。

(質問)

- ・ 対象世帯は、全体で約38,000世帯ということですが、非課税世帯、均等割りのみ課税の世帯の内訳はどのぐらいでしょうか。

(福祉部次長)

- ・ 推定数となりますが、非課税世帯が約34,000世帯、均等割りのみ課税の世帯が4,000世帯弱となっております。

(質問)

- ・ 福祉灯油であると、灯油に限るということでしょうか。ガソリン等も含めた支援が必要であるということで、このたびの助成金5,000円にしたということでしょうか。

(市長)

- ・ はい、そうです。

(質問)

- ・ 釧路市では、福祉灯油をこれまでも何回か実施していたと思うのですが、原油価格高騰に対する助成金は初めてとなるのでしょうか。

(総合政策部長)

- ・ 以前は、平成20年の原油高騰時に、ぬくもり助成金として、福祉灯油という形で給付していたものがありましたが、今回の助成金とは違う形となっております。

(質問)

- ・ ワクチン接種の状況について、11月28日で希望者の接種が概ね完了したということで、市としては、当初、8割ぐらいの方々の接種を想定していたと思うのですが、現在の接種率をどのように見ておりますでしょうか。また、今後のワクチン接種の予定について、防災庁舎5階の計6日間のワクチン接種の予約が、既に埋まってしまったということですが、何人分に接種ができる設定をし、予約が埋まった状況なのでしょうか。

(市長)

- ・ 接種状況は、1回目は、89.1%、2回目で86.3%ということですので、接種対象者の数字としては、大変高い数字であると考えているところです。

(こども保健部次長)

- ・ 12月以降の接種については、6日間で約1,900回弱の接種体制を準備しておりましたが、満杯になった状況であります。

(質問)

- ・ 予約開始が29日午前9時からであったと思いますが、すぐに埋まったということでしょうか。

(市長)

- ・ 予約開始から1日経った今朝の段階で予約が埋まりました。

(質問)

- ・ 追加日程の設定は、12月、1月ということでしょうか。

(市長)

- ・ そのように考えております。現在、その点について相談しておりますが、土曜日に行うであるとか、どのような形にするか協議中であります。想定した以上に接種希望者がいらっしゃると思っておりますが、12~18歳の皆さんが多いかと思っておりますが、その他の方々もかなりいらっしゃるということです。

(質問)

- ・ まだ1回も接種していない方も希望者としていらっしゃるということですか。

(市長)

- ・ そういうことです。まだ、具体ではないのですが、ワクチンパスポートがあった場合の、色々な取り組みを踏まえた中で、今まで接種しなかった方も、接種する方向にあるものと見ております。

(質問)

- ・ 3回目の接種日程が大体固まってきたかと思いますが、例えば特設会場としてMOOを再開する等、決まっているのでしょうか。

(市長)

- ・ 現段階では、3回目の接種は、8カ月経過後となっておりますので、一般高齢者への接種は、来年4月からとなっております。それまでは、エッセンシャルワーカーを含めて医療関係者や、高齢者施設の入所者や職員への接種となっておりますが、ここは、また別に対応していきます。来年4月からの接種体制をどのような形を取っていくのかについては、医師会と調整をしながら進めていくことになると思います。

(質問)

- ・ 3回目のワクチン接種が、12月から医療従事者向けに始まるということですが、具体的に日程は決まっているのでしょうか。

(健康推進課課長補佐)

- ・ 医療機関によって、職員の皆様の仕事の状況から接種日程は異なります。早いところであれば、来週から行うといったお話を聞いております。日程については、病院の方に一任しており、職員の皆様の業務スケジュールに合わせて、接種をしていただく形となっております。

(質問)

- ・ 3回目の接種体制についてですが、1、2回目の接種時には、なかなか予約の電話が繋がりにくいことがあったと思います。3回目接種にあたって、モデルナ製のワクチンを認めるということ等で、自治体にとって新たな負担等があると思いますが、スタッフの人数増や接種体制を強化することはありますでしょうか。

(市長)

- ・ 一般高齢者向けの開始が来年4月からですので、色々な状況を踏まえながら、接種体制の整備を進めていく形です。当初の接種開始の段階では、当市は、ワクチン量を確保し、実施する方法をとってきたので、開始時期が他の自治体より遅れていた状況であります。今後は、色々と進めている他の自治体の接種体制等を確認する時間もありますし、基本は、来年4月から接種できる体制をとっていく形でおりますので、3回目の接種をどれだけの方が希望するのかということも踏まえて、しっかり対応していきたいと思っております。

(質問)

- ・ 3回目のワクチン接種が始まることに対しての効果や思いについてお願いいたします。

(市長)

- ・ 色々と発表されている情報であります。ワクチンの効用が下がっていくといわれておりますので、3回目の接種を進めていくということです。接種を希望される方が、速やかに受けることができるよう、しっかりと体制を整備していきたいと思っております。ウイルスは、変異の問題もありますが、無くなるものではないので、基本的な感染対策を行っていくことが重要であると思っております。あわせて、命を救う観点で、重症化リスクを減らしていくことが、まさしくワクチンの効果であると思っております。もちろん、感染予防にも一定の効果があるということもあります。ウイルスは無くならない訳ですので、感染対策をしっかりと行っていくことと、重症化を減らし、命を救うというワクチンの接種を、しっかりと進めていくことが重要であると思っております。これらを進めることで、安心して、様々な活動展開ができることが望ましいと思っております。

(質問)

- ・ 釧路市職員「飲食店サポート宣言」は、本日からの実施ということでしょうか。また、具体的には、このたびの宣言をして、職員の皆さんが飲食店に行くということであると思いますが、職員にはどのようなことをお伝えしたのでしょうか。

(商業労政課課長補佐)

- ・ 今月24日に職員向けに通知しております。「飲食店サポート宣言」の文章を作り、釧路市職員が率先して、飲食店を利用しますということを掲げ、「感染防止を徹底している飲食店を利用します。」「会食人数が大人数となる場合でも、人と人との距離を確保します。」など、7項目を順守したうえで、飲食店を利用しましょうといった内容にしております。

(市長)

- 色々なことが解除された形であり、市として、あえて明確に宣言することによって、感染防止対策を実施している飲食店の利用を促していくものです。宣言等をせずに黙っておりますと、自粛等が解除したという事実だけで終わり、どのような状況であるのか様子を見る形になると思われまます。このようなことから、色々なコミュニケーションや、飲みニケーションとなるのかもしれませんが、そのような場面で遠慮することなく、必要な時や忘年会等で活用していただこうということで、宣言として出したものであります。

(質問)

- 市役所をきっかけとして、市内の官民、色々な企業等に、このような動きが広がって欲しいといった思いもあるということでしょうか。

(市長)

- はい、そうです。まずは、私どもからそのようなことができればと思っております。釧路地域は、しっかりと感染対策を進めておりますので、あえて、このたびの記者懇談会でお話をさせていただき、そのような流れを作っていければと思っております。

(質問)

- 感染防止を徹底している飲食店の利用を積極的に促していくということですが、感染防止を徹底している飲食店は、例えば、第三者認証を受けた飲食店であるとか基準等はあるのでしょうか。

(市長)

- 私どもも、各飲食店の感染防止対策をしっかり進めていこうということで、パーテーションの設置等に係る経費の9割を補助する補助金制度を実施し、対応してきました。特に、換気のタイミングが重要であるということもあり、二酸化炭素測定装置についても、補助対象に加えているところであります。もちろん、第三者認証ということで、北海道が進めている28項目の確認項目がありますが、基本的には、これまで当市の補助金を活用し、各飲食店で行ってきた感染防止対策についても含まれていると思います。認証店はもちろんであります。そのような感染防止対策をしっかり行っている飲食店を利用するよとといった宣言となります。

(質問)

- 第三者認証を受けた飲食店を積極的に活用しようということではないということですか。

(市長)

- もちろん認証店を活用することは良いことであると思っておりますが、第三者認証制度は、都道府県で確認項目に色々違いがある状況であります。そのような中で、今まで行ってきた、基本の感染防止対策をしっかり行うことが重要であると思っておりますし、特に重視されていることは、換気であると考えておりますので、その対策をしっかり行っている所であれば、大丈夫であると考えております。認証店はもちろんであります。その他の感染防止対策を行っている飲食店を含めて利用していただきたいと考えております。

(質問)

- 市長は、今月上旬に東京で、日本製紙に関する打ち合わせをされてきたと思いますが、どこに行かれて、どのような話をされたのか教えてください。

(市長)

- ・ 本社に行ってまいりました。実際、去年の撤退のお話があったから存続の要請をしてきたわけですが、今年3月1日に、停機するということは会社としての決定であると、お話をいただいた状況です。そこで、跡地利用の計画を、早急に作っていただきたい旨をお伝えいたしました。計画があっても、色々と動くためには5年ぐらいの時間がかかります。全く計画がなければ、15年、20年と、街の中でそのままの状態となってしまうことが、地域にとって大きなマイナスであるということをお話させていただいたところです。その後、色々と連絡を取っておりましたが、停機する9月末まで、雇用の問題もありますし、様々な対応があるということで、10月から色々と加速し、進めていく形でありました。そこで、停機後、それらのことを進めていくためにも、私どもも連携し、色々なことを進めていかなければならないといったお話をしてきました。

(質問)

- ・ 跡地利用に関して、新たな進展等はありませんでしょうか。

(市長)

- ・ 色々なところから、利用に係るお話が来ているということでもあります。私どもに来ているお話についても情報提供しております。ただ、その点について、これからどのようにするかということです。全体として進めていくのか、それとも色々と部分的に進め、最後にどのようなようになるのかということでもありますので、動きを早めていくということですが、全体としての計画を作りながら一緒に進めていくということです。

(質問)

- ・ 日本製紙側に、民間企業から色々と提案があったということですが、それは数社からということですか。

(市長)

- ・ はい、そうです。デベロッパー（不動産開発業者）等から、例えば、何々を行うために、あの場所でこのようなことをやりたいといったお話があったようです。

(質問)

- ・ その点は、今後、市と日本製紙とで一緒に決めていくのでしょうか。それとも、日本製紙が決めていくのでしょうか。

(市長)

- ・ あくまでも土地の所有は、日本製紙であります。ただ、日本製紙につきましても、100年にわたる歴史を踏まえた中で、80haの広大な土地については、将来の釧路市について、大きく寄与できるような形を考えていただいているところでもあります。そのような意味で、日本製紙側と私どもも、色々と情報共有を密にしながら進めていけたらと思っております。

(質問)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の関連で、感染者が増えていた時期に、市長が道の方に感染者を一元管理できる施設の設置を求めていたと思うのですが、それについて、道からの返答は、現時点であるのでしょうか。

(市長)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の場合、罹患者に関しましては、個々への対応でした。感染数が増えていた時に、患者の症状の急変があったものですから、北海道に提案させていただいたのは、ベッド数の多い多床室という形で、症状の急変等

に対応できるものを、市立釧路総合病院の横の公園用地に設置することによって、安心できるという要請をさせていただきました。それに対しまして、現在、感染数が収まっている状況の中、道の方でそちらを進めることはないということでした。要請時は、釧路の医療体制は、非常に協力的に進めていただいているということをいわれました。市立釧路総合病院の増床や管内の市内医療機関との連携で、病床数を確保しながら進めてきたところを、道がしっかりと見ておりましたので、大変混乱した状況の中でも、医療体制を守っていただいたことは、重々承知しているという言い方でした。その上で、多床室での対応ができると、さらに安心できるのではないかとありますが、今後の展開を見ていきながらということで、現段階では保留という形になっております。

(質問)

- ・ 新たな変異株としてオミクロン株が出てきており、本日から入国禁止の措置が取られておりますが、釧路に入国禁止が及ぼす影響について、把握しているものはありますでしょうか。

(市長)

- ・ 影響の把握という状況にはなっておりません。釧路市のみならず管内につきましても、外国人技能実習生等のことがあることは承知しているところです。そのような課題は存在していると思っておりますが、今の入国禁止の措置は、去年の状況を踏まえた中で、当然の措置であり、致し方ないものであると思っております。今後、私どもは事業者の事業継続という意味合いで、状況等を踏まえながら、生き残り、継続できる体制をとっていくことになるかと考えております。

(質問)

- ・ 赤潮被害について、前回の会見以降の動きは、釧路市に関連してありましたでしょうか。

(水産統括監)

- ・ 釧路市としては、常に被害状況を把握しております。国の動きとしては、11月末に閣議決定をし、支援の概要が見えてきたところではありますが、今は、その詳細を詰めている状況ということですので、引き続き情報収集を行っております。

(市長)

- ・ 市としては、両漁協含めて、情報等を収集しておりますが、赤潮対策ということになりますと、広範囲になっておりますので、北海道と連携を取りながら進めております。当初の被害額が75億円でしたが、現在は被害額80億円と上がっている状況です。私どもとしては、釧路のウニ等の被害を道の方に示していきながら、進めている状況であります。今回、国の方から示されたものは、まずは、ウニに対してのことですので、それ以外の被害のこともありますので、今後、どのような形をとっていけるのか、釧路管内と道と相談しながら進めていく形になっている状況です。